This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-29113 (P2001-29113A)

(43)公開日 平成13年2月6日(2001.2.6)

(51) Int.Cl.7

識別配号

FΙ

テーマコート*(参考)

A 4 4 C 25/00 11/00 A44C 25/00 11/00 A 3B114

審査請求 有 請求項の数3 OL (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平11-204314

(22)出願日

平成11年7月19日(1999.7.19)

(71)出願人 390012265

株式会社ナガホリ

東京都台東区上野1丁目15番3号

(72)発明者 長堀 守弘

東京都台東区上野1丁目15番3号 株式会

社ナガホリ内

(74)代理人 100098198

弁理士 旦 武尚 (外2名)

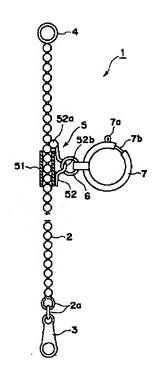
Fターム(参考) 3B114 EB01 FA07 FB02 FB04

(54) 【発明の名称】 長さ調節を可能にした装身具

(57)【要約】

【課題】 服装や体型の変化に応じて、自由に長さ調節を可能とした装身具を提供すること。

【解決手段】 一端に孔あきプレート3が取付けられ、他端に止め輪4が取付けられたチェーン2と、前記チェーン2が挿通される円筒部5に一端が溶着され、他端にボール52aが溶着された弾性杆52を有する長さ調節具5と、前記長さ調節具5の弾性杆52に連結環6を介して取り付けられる引き輪7とから構成され、前記長さ調節具5は、弾性杆52の端部に溶着したボール52aによりチェーン2上に係合し、一定以上の力を加えて円筒部5内を摺動させるとボール52aとチェーン2との係合が解除されるようにした長さ調節を可能にした装身具である。



02/26/2004, EAST Version: 1.4.1

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一端に孔あきプレート3が取付けられ、 他端に止め輪4が取付けられたチェーン2と、前記チェ ーン2が挿通される円筒部51に一端が溶着され、他端 にボール52aが溶着された弾性杆52を有する長さ調 節具5と、前記長さ調節具5の弾性杆52に連結環6を 介して取り付けられる引き輪7とから構成され、前記長 さ調節具5は、弾性杆52の端部に溶着したボール52 aがチェーン2に係合され、一定以上の力を加えて前記 円筒部51内を摺動させるとボール52aとチェーン2 10 との係合が解除されるようにしたことを特徴とする長さ 調節を可能にした装身具。

【請求項2】 前記チェーンは、ボールチェーン2又は ベネチュアチェーン8である請求項1記載の長さ調節を 可能にした装身具。

【請求項3】 前記長さ調節具5は、円筒部51に設け た孔51aに前記ボール52aの一部分が臨むように構 成したことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の長 さ調節を可能にした装身具。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、長さ調節を可能に した装身具に関し、詳しくは、服装や体型の相違に応じ て、自由に長さ調節を可能とした装身具、特に、ネック レスとして好適な装身具に関する。

[0002]

【従来の技術】ネックレス等の装身具は、通常、購買率 の高い購入者層の標準的な体型を基準に、例えばネック レスであればチェーンの長さ40cmを基準として2c mづつ長短異なる長さ、・・・38cm、40cm、4 30 2 c m・・・として製作され、販売されている。このた め、購入者は、自分の体型に合った長さの装身具を選択 して購入することとなる。

【0003】しかし、装身具は日々着用する服装の変化 に応じて長さ調節をする場合があり、装身具の長さが一 定であっては、日々着用する服装の変化に対応させるこ とができないという問題が生じた。また、装身具は一般 に高価なものであり、一生涯使用される場合もあるた め、この間に装着者が痩せたり、太ったりという体型に 変化が生じた場合、装身具の長さが体型に合わなくなっ 40 てしまい、装着できなくなるといった問題が生じた。

【0004】このため、今日においては、図10及び図 11に示すような長さ調節を可能とした装身具が用いら れている。図10は従来の長さ調節を可能にした装身具 を示した図であり、図11は図10に示す装身具の長さ を調節した状態を示す図である。

【0005】図10及び図11において、10はネック レス等の装身具を示し、この装身具10は引き輪式止め 具を用いたものである。詳しくは、チェーン11の両端 に連結環11a、11bを介して引き輪12と孔あきプ 50 【0013】図において、符号1はネックレス等の装身

レート13とが取付けられ、チェーン11の引き輪12 側から所定の位置に調節環14を設けて構成されたもの

【0006】このような構成からなる装身具10は、図 10に示すように、引き輪12の引きピン12aを引 き、引き軸12bを移動させ、開閉部分を開いて孔あき プレート13の孔に引き輪12を挿入し、引きピン12 aを戻すことにより引き軸12bが戻り、装身具10が 環状となり装着が可能となる。

【0007】また、装身具10の長さ調節を行う場合に は、図11に示すように、孔あきプレート13の孔と調 節環14に引き輪12を挿入することにより、装身具1 0の長さを孔あきプレート13から調節環14までの長 さに短縮することにより、装身具10の長さ調節を可能 としている。

[0008]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前述し た従来の長さ調節を可能にした装身具を用いた場合、装 身具を所定の長さまで短縮できるものの、装身具を装着 20 する者の日々の服装や体型の変化に合わせて自由な長さ 調節を行うことができないという課題があった。

【0009】本発明は前記した問題点を解決せんとする もので、その目的とするところは、服装や体型の変化に 応じて、自由に長さ調節を可能とした装身具を提供せん とするものである。

[0010]

【課題を解決するための手段】本発明の長さ調節を可能 にした装身具は前記した目的を達成せんとするもので、 その手段は、一端に孔あきプレートが取付けられ、他端 に止め輪が取付けられたチェーンと、前記チェーンが挿 通される円筒部に一端が溶着され、他端にボールが溶着 された弾性杆を有する長さ調節具と、前記長さ調節具の 弾性杆に連結環を介して取り付けられる引き輪とから構 成され、前記長さ調節具は、弾性杆の端部に溶着したボ ールがチェーンに係合され、一定以上の力を加えて前記 円筒部内を摺動させるとボールとチェーンとの係合が解 除されるようにしたものである。

【0011】また、前記チェーンは、ボールチェーン又 はベネチュアチェーンであることが好ましく、さらに、 前記長さ調節具は、円筒部に設けた孔にボールの一部分 が臨むように構成したものであっても良い。

[0012]

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる長さ調節を 可能とした装身具の第1の実施形態について図1乃至図 5に基づいて説明する。ここで、図1は本発明にかかる 長さ調節を可能にした装身具を示す図、図2は本発明に かかる長さ調節を可能にした装身具の使用状態を示す 図、図3は図1の部分拡大図、図4は長さ調節具の斜視 図、図5は長さ調節具の断面図を示している。

3

具を示している。この装身具1は、所定の長さのボール チェーン2の一端に連結環2aを介して孔あきプレート 3が取付けられ、他端には後述する長さ調節具5がボー ルチェーン2からの抜け落ちることを防止するための止 め輪4が取付けられている。

【0014】前記長さ調節具5は、図3乃至図5に示す ように、ボールチェーン2が挿通される円筒部51を有 し、この円筒部51にはボール52aが一端に溶着され た弾性杆52の他端が溶着されて構成されている。ま た、この弾性杆52には湾曲部52bが設けられ、この 10 湾曲部52bに連結環6を介して引き輪7が取付けられ ている。

【0015】次に、本発明にかかる長さ調節を可能とし た装身具を用いて長さ調節を行う場合について説明す る。まず、長さ調節具5の弾性杆52の端部に溶着した ボール52aにより、長さ調節具5はボールチェーン2 に固定されている。従って、長さ調節を行う場合には、 長さ調節具5に一定以上の力を加えてボールチェーン2 上を任意の位置まで摺動させる。

【0016】ここで、孔あきプレート3が取付けられる ボールチェーン2の端部から引き輪7までの長さが装身 **具1の長さとなるため、前記した任意の位置とは、装着** 者が服装や体型の変化に合わせて設定した位置をいう。 また、長さ調節具5を摺動させるための一定以上の力 は、弾性杆52の弾性力により定まる。従って、弾性杆 52の弾性力が強くなれば、長さ調節具5を摺動させる ための力は大きくなり、逆に、弾性杆52の弾性力が弱 くなれば、長さ調節具5を摺動させるための力は小さく なる。

部52bに連結環6を介して取付けた引き輪7の引きピ ン7aを引き、引き軸7bを移動させ、開閉部分を開い て引き輪7に孔あきプレート3を挿入し、引きピン7a を戻すことにより引き軸7bが戻って環状となり、装着 者の服装や体型に合わせて装身具1の長さを調節して装 着することができる。

【0018】なお、上述した実施形態においては、装身 具1のチェーンとしてボールチェーン2を用いたが、本 発明は何等これに制限されず、図6に示すようにベネチ ュアチェーン8を用いたものであっても良い。

【0019】次に、図7乃至図9を参照して、本発明の 第2の実施形態を説明する。ここで、図7は本発明の第 2の実施形態を示す図、図8は本発明の第2の実施形態 における長さ調節具を示す斜視図、図9は本発明の第2 の実施形態における長さ調節具を示す断面図である。

【0020】図において、符号1はネックレス等の装身 具を示し、この装身具1は、ベネチュアチェーン8の両 端に連結環2aを介して孔あきプレート3と止輪4が取 付けられると共に、ベネチュアチェーン8が挿通される 長さ調節具5とから構成される点で上述した実施形態と 50

同様である。

【0021】本発明の第2の実施形態は、図7乃至図9 に示すように、ベネチュアチェーン8が挿通される長さ 調節具5の円筒部51に孔51aを設け、この孔51a に弾性杆52の端部に溶着したボール52aの一部が挿 入される構造となっている点を特徴とする。

【0022】このような構成を採用した場合、ベネチュ アチェーン8のような球形部分を有さないチェーンであ っても、長さ調節具5の摺動をスムーズに行うことがで きる。即ち、第1の実施形態においては、弾性杆52の 端部に溶着したボール52aは、円筒部51外の縁部よ りに位置する。

【0023】このため、ボールチェーン2のようにボー ルを連ねたチェーンでは問題は生じないが、球形部分を チェーン上に有しないベネチュアチェーン8にあって は、ボール52aにより押されたチェーンが円筒部51 の縁部分に引っ掛かり、長さ調節具5の摺動をスムーズ に行うことができないという問題が生じる。

【0024】しかし、第2の実施形態のように、円筒部 51に設けた孔51aにボール52aの一部分を挿入す る構造を採用した場合には、ボール52aに押されたべ ネチュアチェーン8は円筒部51の内壁面に当たり、縁 部に引っ掛かることがないため、長さ調節具5の摺動を スムーズに行うことができる。

[0025]

【発明の効果】本発明の長さ調節具は、弾性杆の端部に 溶着したボールによりチェーンに係合され、一定以上の 力を加えて円筒部内を摺動させるとボールとの係合が解 除されて長さ調整が行えるので、服装や体型の変化に合 【0017】そして、長さ調節具5の弾性杆52の湾曲 30 わせて、装身具の長さを自由に調節することができる。 【0026】また、前記チェーンとしては、ボールチェ ーンのみではなくベネチュアチェーンをも用いることが できる。さらに、前記長さ調節具は、円筒部に設けた孔 に弾性杆の端部に溶着したボールの一部が望ませること により、ベネチュアチェーンであっても長さ調節具をス ムーズに摺動させ、かつ、固定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明にかかる長さ調節可能な装身具 を示す図である。

40 【図2】図2は、本発明にかかる長さ調節可能な装身具 の使用状態を示す図である。

【図3】図3は、図1の部分拡大図である。

【図4】図4は、長さ調節具の斜視図である。

【図5】図5は、長さ調節具の断面図である。

【図6】図6は、図1のチェーンをベネチュアチェーン とした図である。

【図7】図7は、本発明の第2の実施形態を示す図であ

【図8】図8は、本発明の第2の実施形態における長さ 調節具を示す斜視図である。

5

【図9】図9は、本発明の第2の実施形態における長さ 調節具を示す断面図である。

【図10】図10は、従来の長さ調節可能な装身具を示す図である。

【図11】図11は、従来の長さ調節可能な装身具の使用状態を示す図である。

【符号の説明】

- 1 装身具
- 2 ボールチェーン
- 2 a 連結環
- 3 孔あきプレート

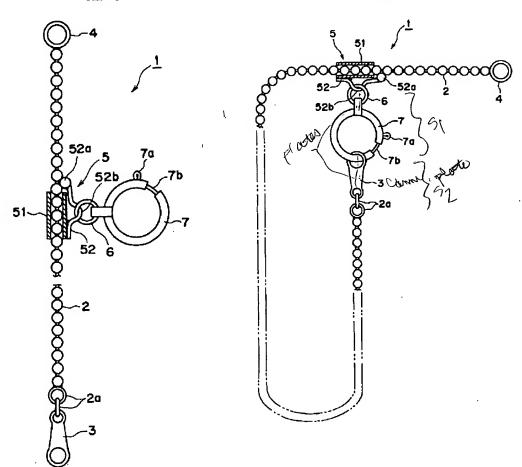
4 止め輪

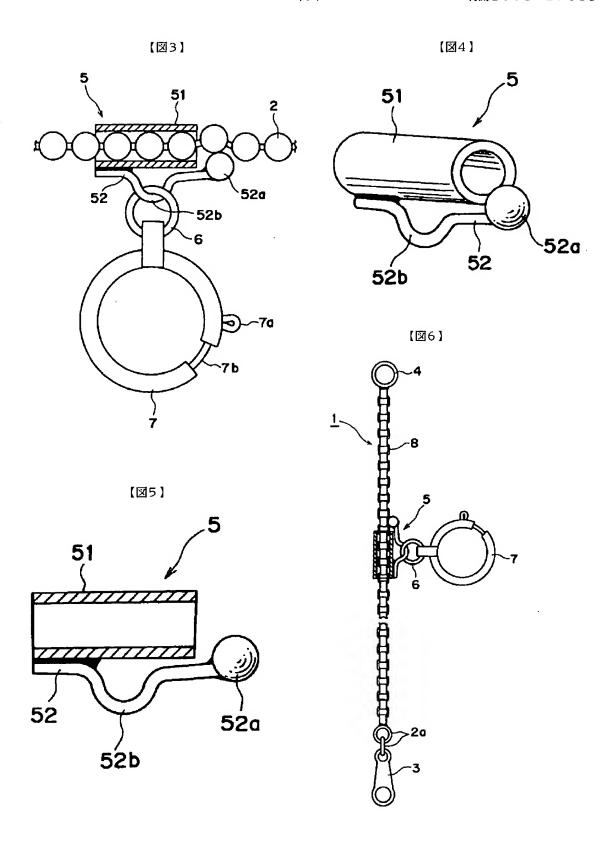
(4)

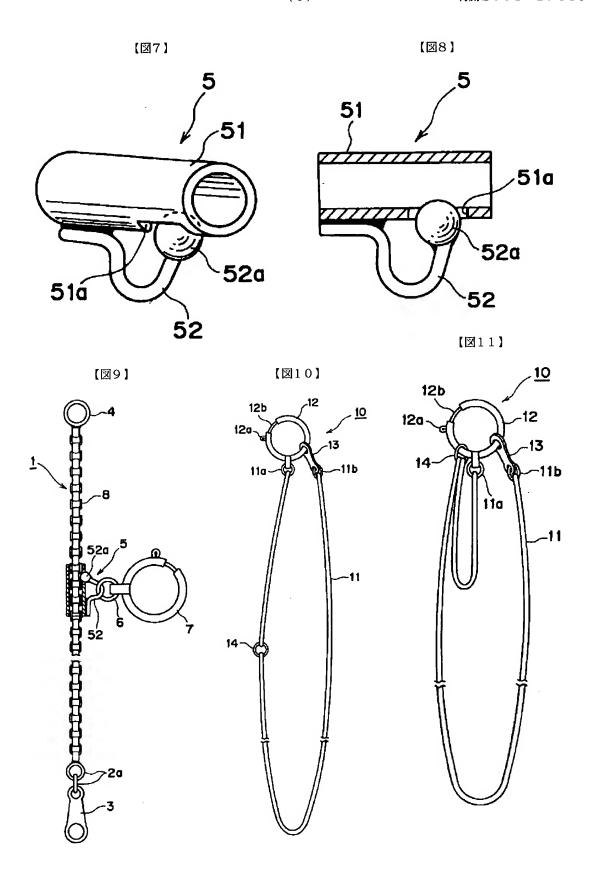
- 5 長さ調節具
- 51 円筒部
- 52 弾性杆
- 52a ボール
- 52b 湾曲部
- 6 連結環
- 7 引き輪
- 7a 引きピン
- 10 7 b 引き軸
 - 8 ベネチュアチェーン

【図1】

【図2】







02/26/2004, EAST Version: 1.4.1